

【教育活動の名称】 地域みんなで作って祝う創立150周年

【副題】 学校運営協議会が中心になって進めた記念事業と記念式典

【学校名】 湖南省立下田小学校

1 本校の概要

下田地域は、市の北東部に位置し、古くからの商店街エリアを中心に住宅地が広がっている。ただし、児童数はこの5年で約120名増加しており、近年造成された住宅地から通学している児童の割合は、全校の45%に達する。また、本校は平成29年度よりコミュニティ・スクールとなり、「地域とともにある学校」として地元の方々から大切にいただいている。学校運営協議会は複数の委員会を構成し、自主的かつ積極的に推進されている。また、今年度は創立150周年を迎え、地元からの応援が大きい。学校は、学校運営協議会で承認された経営方針に則り、学校教育目標「あきらめずに何度でもチャレンジする児童の育成」の具現化に努めている。全校児童数は409名である。

2 取り組んだ内容

(1) 創立150周年記念事業の推進

学校運営協議会において、150周年事業実行委員会を立ち上げ、取り組む4つの事業内容を検討した。

4つの事業は、150周年記念式典の実施、ふるさと学習室の設置、大成の庭及び東館入り口の農具置き場の整備である。これらの取組のために2年前から月一回の実行委員会を開催し、取組の時期や方法の検討、必要経費や予算獲得の具体について協議し実行した。

150周年記念式典については、当日のプログラム、イベント内容、地域の人や児童の参加体制等を決め、地域の伝統産業を活かした作品の児童による販売や宣伝活動も併せて実施した。ふるさと学習室の設置については、地域の昔の農具や生活用品、明治7年の学校創立当時から現在までの地域の風景や校舎の写真等が設置され、児童のふるさと学習への活用が期待される。大成の庭については、植木の整備と水車の撤去を行い、東館の玄関には農具置き場を作り、5年生がたんぼの子活動で使う農具を整理して置けるようになった。

(2) 創立150周年記念式典の準備と大成功

令和6年11月16日(土)に、記念式典を実施し、6年生の南中ソーラン、市長挨拶、目録贈呈、アトラクションとして、甲西吹奏楽団ジュニアバンドによる演

奏、本校卒業生で元WBC世界バンタム級チャンピオンの山中慎介氏、同じく卒業生で吉本興業の住みます芸人のノーサインさん、在校児童によるトークショー等を実施した。当日は、予想を上回る多くの地域の方々や保護者が来校され、立ち見の方も多数おられ、大盛況であった。



3 活動の成果

この取組の大きな特徴は、学校運営協議会(CS)が中心になり事業を推進したことである。地域の方々から自分たちの学校として、下田小の150周年をみんなで祝いたいとの熱い思いでCSと学校が協働で計画、準備、実施、成功できたことは、大きな成果であった。

そして、本校が150周年を迎える1年前から、地域コーディネーターの指導のもと、児童たちはカウンタダウンボードの制作、150周年記念グッズの作成や地域の夏祭り等での販売活動に積極的に関わりアピールする姿が見られた。当日は、6年生を中心にたくさんの児童が、授業ではない放課後の時間にも関わらず



参加してくれた。さらに保護者や地域の方々のたくさんの参加があり、「地域みんなで作って祝う創立150周年」というタイトルがびったりあう記念式典となった。児童にとって、地域と学校への愛着を高める思い出深い機会となったと感じた。